

平成 23 年度
沼津工業高等専門学校動物実験委員会
報告書

○今年度の主な活動

1) 第1回動物実験委員会

平成23年5月13日 16:30

2階第2会議室

出席委員： [REDACTED]

議題：

1. 委員長の選出

委員会規則第4条に基づき、委員の互選により [REDACTED] が選出された。

2. その他

(1) 委員長による委員長代行の指名

委員会規則第4条に基づき、委員長代行は [REDACTED] が指名された。

1) 「実験委員会規則」の内容確認

委員会の役割

委員会の役割は、委員会規則第2条が主である。これらの件について、年1～2回委員長が実験実施者から報告を受け、特に問題がないと委員長が判断する場合には、その実施報告を各委員に回覧して、実施内容についての承認を得る。報告書またはそれ以外で問題が生じた場合には、必要に応じて委員長は委員会を開いて討議する。

次期委員会のメンバーについて

次期委員会のメンバーは、前年度の委員長が委員の意見を参考にして、校長に推薦する。

2) 「動物実験に関する指針」の内容確認と現状報告

添付資料（規則および指針、平成21年度「動物実験に関する指針」について）及び以下のHPを参照のこと

http://www.numazu-ct.ac.jp/nct_hp_new/other/animal/animal.html

3) その他

特に無し。

以上

2) 第2回動物実験委員会

平成24年3月9日(金)～3月15日(木) 17:00 メール会議

委員 :

議題 :

1. 平成23年度動物実験報告書の確認

次ページに掲載の実験について、動物の検疫、実験の安全性、糞尿処理・死体処理、動物の苦痛排除等が適切に行われたことを確認した。

これらの動物実験に関する補足説明

- ・実験に用いた試薬には、毒劇物および遺伝子操作、感染症に関わるものは含まれなかつた。
- ・実験に用いた動物は、正規業者（日本SLC社）より購入したもので、定期的な観察により外見上の異常は確認されなかつた。記録簿は、この書類の末尾に添付する。また、遺伝子組み換え動物は、使用しなかつた。
- ・動物は、頸椎脱臼またはエーテル麻酔下に安楽死させた。
- ・飼料は通常の市販実験動物用飼料（日本SLC社製及び日本クレア社製）、床敷きは通常のチップ（日本SLC社製）、飲料水は通常の水道水を使用した。
- ・糞尿の処理は、床敷きのチップ（おがくず）として沼津市が可燃物として収集した。
- ・動物の死体は、三島函南広域行政組合（みしま聖苑）に焼却処理を依頼した。記録資料は、別途保存。

2. 繙続検討事項

- ・平成23年度は、飼育室内で自然死した動物については、その死因に感染症等の異常は見られなかつた。この件については、今後も継続して確認を行うこととする。
- ・動物実験指針等の内容改善の検討について、今後も継続して行うものとする。

3. 平成24年度当委員会の委員の推薦

平成24年度当委員会委員について、以下のように校長に推薦する。

動物実験に関係する教員（若干名）:

動物実験に関係しない教員（若干名）:

動物実験に関係する技術職員（若干名）:

総務課長

4. 平成23年度自己点検報告書の作成

平成23年度自己点検報告書(本文書)を作成し、その内容について委員の了承を得た。

以上